

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第135号 2025年6月23日 発行



会長就任のご挨拶

公益社団法人石川県作業療法士会 会長 米田 貢
(金沢大学)

このたび、第12回総会において理事として承認され、その後の理事会において推薦を受け、会長を拝命することとなった。長年にわたり本会の活動を支えてこられた歴代会長をはじめ、すべての会員ならびに関係機関の皆様に、深く敬意と感謝を表する。微力ながら、作業療法の専門性を活かし、県民の健康と地域社会の持続に寄与する組織づくりに尽力していく所存である。

2025年が到来し、2040年を見据えるとき：2025年を迎え、「団塊の世代」がすべて後期高齢者となる時代に突入した。そして2040年には高齢者人口が最大化し、生産年齢人口が急減する「2040年問題」が目前に迫っている。これは単なる高齢化の問題ではなく、地域社会の持続可能性そのものが問われる時代の到来である。このような社会的変化に伴い、作業療法士に求められる役割も大きく変化・拡大している。医療や介護の現場にとどまらず、地域包括ケア、フレイル・認知症予防、孤立予防、生活支援、災害リハビリテーション、さらにはヤングケアラー支援や多死社会への対応など、作業療法の専門性が求められる場面は広がり続けている。

より魅力ある組織へ：作業療法の専門性を社会に還元していく上で、組織としての強靱性と柔軟性を備えることが不可欠である。近年、情報発信や意思決定が一方向的なトップダウンに偏る傾向があり、会と会員の間に距離が生じ、結果として組織の脆弱性が生まれていると感じている。これからの時代に必要とされるのは、多様な声を聴き、双方向で関係を築く運営スタイルである。これは「ブロードリスニング(Broad Listening)」という概念にも通じる。会員の声を意図的かつ丁寧に拾い上げ、それを意思決定や事業運営に反映することで、共感と納得感が生まれ、変化に対応できる強固な組織へと進化できると確信している。従来であれば困難であったこうした取り組みも、AIによる意見分析や傾向抽出などの技術を活用することにより、より効果的に実現可能となっている。テクノロジーと対話を融合させ、未

来志向の新たな組織運営体制の構築に挑戦していく。

学術研さんの効率化：本会の学術研さん活動は、長らく対面型研修会を中心に展開されてきたが、コロナ禍以降はオンライン型へと転換が進み、通信環境の整備とともにe-learningの活用も進んでいる。令和6年の能登半島地震により被災した会員の中には、研修を受講したくてもできない状況にある者も少なくない。このような状況をふまえ、日本作業療法士協会の生涯教育制度の改革にも対応しながら、研修の内容と実施方法を見直し、柔軟かつ公平な学びの環境を整備していく必要がある。

石川県の保健・医療・福祉への貢献に向けて：現在、石川県では第8次医療計画(令和6年度～)が推進されており、県民ニーズに応じた医療提供体制の整備が図られている。この計画に沿った取組は、本会としても重要な使命であり、今後対応すべき課題も明確になってきている。当会は疾患別の作業療法に対応した研修会の開催や人材育成にはおおむね対応してきたが、政策との連携、能登地域における人材確保支援、地域移動支援や運搬支援、ICT・デジタル対応、そして災害支援の標準化といった領域では、さらなる対応が求められている。これらの詳細については、今後あらためて具体的に提示したい。

長期視点とともに歩む県士会へ：2040年問題を見据え、今から備えを進めることが求められている。超高齢社会の進行、地域の担い手不足、生活困難者の増加といった多様な社会的課題に対し、作業療法士の「生活に根ざした支援」が果たす役割はますます重要となる。

一人ひとりの会員が持つ専門性と経験こそが、地域の支えであり、未来を築く力である。会員の皆様におかれては、知恵と実践を本会にお寄せいただきたい。ともに学び合い、支え合い、挑戦し続ける石川県作業療法士会を、皆で築いていこう。

今後とも、変わらぬご指導とご支援を賜るよう、心よりお願い申し上げます。

新役員と組織図

会 長		米田 貢		
副会長		桂 靖典	合歡垣紗耶香	堀江 翔
事務局長		堀江 翔		

監事		後出雅敏	進藤浩美	
----	--	------	------	--

事務局	財務部	吉田 翔	高多真裕美		合歡垣洸一
	事務部	堀江 翔	東ひとみ		山本恭啓
	リスク管理部	合歡垣紗耶香	米田 貢		
	事業部	高多真裕美	加藤孝之	菊池ゆひ	宮腰 真
	企画部	種本美雪	酒野直樹		中村晃徳
	広報部	酒野直樹	五十嵐満哉		川口朋子

支部	能登支部	永井亜希子			北谷 渉
	金沢東支部	市川翔悟			仁木裕也
	金沢西支部	東ひとみ			長原美穂
	加賀支部	中森清孝			西村幸盛

委員会	表彰委員会	三役			
	選挙管理委員会	堀江 翔			小浦綾乃
	認知症対応委員会	種本美雪	中森清孝		吉川舞子
	情報通信委員会	堀江 翔	菊池ゆひ		城野友哉
	運転と地域移動支援推進委員会	高多真裕美			高間達也
	災害対策委員会 (石川JRAT)	合歡垣紗耶香	市川翔悟		坂井由依
	生活行為向上推進委員会	中森清孝	五十嵐満哉		渡邊貴之

学術局	地域保健福祉部	市川翔悟	加藤孝之	鈴木弘美	今井啓介
	福祉機器部	東ひとみ			和知晋太郎
	発達障害支援部	鈴木弘美			坂下宗祥
	精神医療部	菊池ゆひ	吉田 翔		萬 貴裕
	身障・老年医療部	永井亜希子	合歡垣紗耶香		朝里浩靖
	教育部	桂 靖典	五十嵐満哉		千田 茂
	管理運営教育部	桂 靖典			坂下宗祥
	学術部	堀江 翔	永井亜希子		中嶋理帆

新理事抱負



恵寿総合病院 五十嵐満哉

これまで、管理運営教育部、MTDLP委員会、運転と地域移動支援推進委員会に所属し、OTとしての臨床実践力、マネジメント力、人間性、学習と成長といった視点が重要であることに活動を通して実感した。今後も部員として活動してきた時と変わらず、積極的に行動し、職能団体としてOTの質を高めていきたい。また若いOTの目線にも立って、思いやニーズを大切に会員の皆様と共に県士会を盛り上げていきたい。



公立河北中央病院 市川翔悟

これまで東支部支部長として、支部内の関係性の構築や知識・技術の向上に取り組んできた。また、災害対策や地域包括推進にも関わり、協会や他県の作業療法士との情報

交換も行ってきた。今後、この経験を活かし、会員の皆様に参加しやすい研修会等の企画や、作業療法士の職域拡大、災害時の対応などの情報提供を行うといったことで、少しでも会員の皆様へ貢献できるように取り組んでいきたい。



城北病院 吉田 翔

県士会ではこれまで東支部やMTDLP推進委員会の一員として携わってきた。県士会活動は、作業療法の普及発展を図り、作業療法士の質の向上や職域の拡大などに非常に重要なものと考えている。不慣れな点もあり、私自身日々学びながら取り組んでいることも多いが、会員の皆様にとって県士会がより良いものになるように、微力ながら尽力していきたい。

人のつながりに支えられて—医療功労者表彰を受けて—

金沢大学 米田 貢

このたび、石川県医療功労者県知事表彰を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。これまでご指導とご支援をいただきました恩師、先輩、同僚、後輩、そして家族に、心より感謝申し上げます。私は平成2年に作業療法士となり、他県士会に所属した後、平成14年に金沢大学に入職して臨床・教育・研究に従事してまいりました。平成29年には石川県作業療法士会の理事を拝命し、通算8年間、微力ながら作業療法の発展に努めてまいりました。この間には、小中高生を対象とした体験型啓発事業や、高齢者と中高生の交流を活用した健康予防事業、脳活プログラムの開発といった新規事業の立ち上げに関わる機会もいただきました。また、令和6年能登半島地震においては、災害リハビリテーション支援活動に従事し、現在も復興支援に尽力しております。これまでの道のりを振り返りますと、作業療法には「人とのつながりを生む力」があることを強く実感しております。今後その力を信じ、「人とのつながり」を大切にしながら、臨床・教育・研究に専念し、県民の健康増進と医療行政の発展に貢献してまいりたいと存じます。

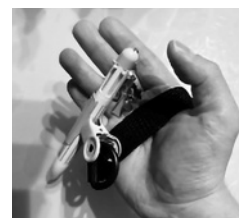
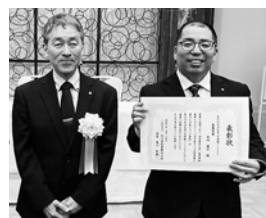


第4回生活行為工夫情報コンテスト 最優秀賞

「視覚障害を伴う橈骨神経麻痺の方がクリップ付万能カフで白杖移動と書字が可能となった事例」

金沢福祉用具情報プラザ 本田 優介

このたび、生活行為工夫情報コンテストにて表彰を頂き、福祉用具の携わるものとして大変光栄に思います。利用者の生活に寄り添う自助具作りを大切にしてきた日々が形となり、励みになりました。今後も作業療法士として創意工夫を重ね、支援に活かしてまいります。



優秀論文表彰

論文名「Rehabilitation Perspectives in Spinal Cord Ischemia After Major Vascular Surgery : A Case Series」

金沢大学附属病院 仁木 裕也

このたび、優秀論文賞を頂くことができ、大変光栄に思います。臨床と研究を両立する中で多くの学びがありました。支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今後も循環器病における作業療法の発展に貢献できるよう努めてまいります。

論文表彰奨励賞

論文名「日常生活と就労場面において実用手となった
キーンバック病・手根管症候群術後の作業療法プログラム」

芳珠記念病院 堀川 修子

この度は症例論文賞をいただき大変光栄に思います。多くのご指導があり、ハンドセラピー領域の作業療法介入から初めての論文執筆まで、自分の未熟な経験や能力でも挑戦することができました。恵まれた環境への感謝を忘れず、引き続き日々の臨床業務や学術研鑽に取り組んでいきたいと思っております。



仁木氏

堀川氏

キャリアアップ表彰

芳珠記念病院 新谷 唯

前年度は様々な支部の事例検討会や興味のある分野の研修会に参加し、学んだ知識や技術を臨床に活かせるように努めていました。今後も様々な研修会に参加し、知識と技術を身につけると共に他病院や施設の方との交流も大切にししながら自己研鑽に励み、臨床場面で活かしていきたいです。ありがとうございました。



永年会員表彰受賞者から一言

金城大学 川口 朋子

この度、永年会員の表彰を賜る機会を頂き感謝申し上げます。石川県で生まれ育ち、気づけば作業療法士20年という月日が流れ、今の自分があるのは、恩師、先輩後輩、同期、教え子、友人、家族のおかげであり心から感謝致します。

私は2005年に石川県済生会金沢病院に入職し、2013年から金城大学で勤務し現在に至ります。教育に力を注ぎ、『自分の考えを持ち思いやりのある作業療法士』を育成することに邁進しております。私が大学4年次の臨床実習にて、患者さんの回復を間近で感じ、教科書の内容が、患者さんの症状や治療とリンクしていた時の楽しさや、納得できた時の面白さは今でも忘れていません。今後も、”初心忘るべからず”何事にも謙虚な姿勢を芯に持ち、石川県作業療法士会の発展のために、微力を尽くして取り組んで参ります。



桂氏 中嶋氏 東川氏 川口氏 宮本氏 浅田氏

永年会員表彰者の皆様

このたび20年の永年会員表彰を受けた皆様をご紹介します。

川口 朋子 金城大学 医療健康学部
北村 祐樹 十全病院
寺井 利夫 金沢医科大学病院
武田 千絵 金沢大学医薬保健研究域保健学系作業療法学専攻
長山 知広 サンウェルズ
浅田 真帆 葵の園 丘の上
榊原 隆義 ときわ病院
宮腰 真 独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院
白山 武志 金沢西病院
墨屋 理沙 城北クリニック
桂 靖典 木島病院
垣坂 和範 ときわ病院
垣坂 知加 通所リハビリセンターおれんじ

森 加那子 小松市民病院
泉 香奈 自宅(うちなだ訪問看護ステーション エヴァ)
北村 淳治 小松市民病院
中嶋 理帆 金沢大学医薬保健研究域保健学系作業療法学専攻
山崎 健生 公立能登総合病院精神センター
宮本 麻優 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
堀田めぐみ 訪問看護ステーション リハケア芦城 芦城サテライト
野崎 恵介 浜野西病院
由久保郁絵 特別養護老人ホーム あつとほ一む若葉
中川美由紀 訪問看護ステーションよつ葉ののいち
小浦 綾乃 浅ノ川総合病院
山口 雅代 七尾松原病院

シリーズ 能登半島地震 活動報告②

災害対策委員会

令和6年1月1日に発生した能登半島地震から1年半が経過した現在も、支援を必要とする状況は続いている。当会では、災害時に備えた体制づくりを少しずつ進めてきた。今年度は、こうした取り組みについて会員の皆さんに広く発信するとともに、ご理解とご協力をお願いしたいと考えている。

① 協会災害対策本部との情報交換会

4月15日、日本作業療法士協会災害対策本部との情報交換会を開催した。県が実施している復興リハビリテーション支援事業に関する情報を共有し、令和7年度の当会の活動計画についても報告した。現在、支援の段階は復興期に移行しており、協会・県士会ともに災害対策本部を解散。今後は、災害対策委員会として必要に応じた情報交換を継続していく予定である。

② 協会災害対策委員会への参加

当会の市川委員長が、協会災害対策委員会の臨時部員として、災害基本方針の策定に関わっている。被災県士会としての経験をもとに、協会からの支援の振り返りや今後の体制、会員支援のあり方などについて意見交換を行っている。基本方針は、今年度中に協合理

事で承認される見込みである。

③ 今年度の支援活動

昨年度に引き続き、事業部の「中高生と高齢者の交流会」を能登地区で開催する予定である。また、生活不活発病の予防を目的に、リハビリテーション・スポーツフェスに被災地部門を設けることを検討している。協力会員を募集予定であり、積極的な参加を呼びかけたい。

④ 情報発信の強化

会のホームページをリニューアルし、災害対策に関する情報や支援活動の詳細を随時発信していく。会員の皆さんには、定期的に確認していただきたい。

⑤ 災害シミュレーション訓練

今年度も、協会主催の災害シミュレーション訓練が実施される予定である。令和6年度は、奥能登豪雨災害直後であったことから、LINEオープンチャットやFAX、最終的には電話も用いて安否確認を行った。その結果、非会員を含む827名の安否を確認することができた。今年度は安否確認率100%を目指し、より確実な対応を図っていく。

2025年度 会員みんなで交流会(新会員歓迎会・表彰者祝賀会 併催)を終えて

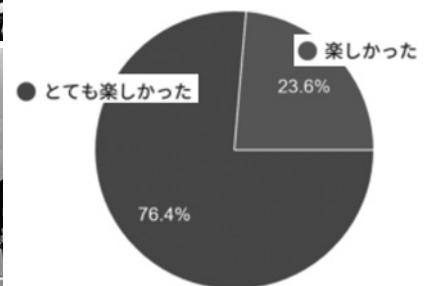
企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

今年も「会員みんなで交流会(新会員歓迎会および表彰受賞者祝賀会併催)」と題して参集型で開催した。当日は新会員34名、表彰受賞者9名、一般会員26名の総勢約80名にのぼる多くの方に参加いただいた。今回は新会員と一緒に参加いただいた一般会員の方も多く、県士会活動へご理解いただき感謝申し上げます。

新たに就任された米田新会長の挨拶からスタートし、開催中は終始皆さんの笑顔がこぼれ、テーブル対抗クイズでは一喜一憂するなど大きな盛り上がりを見せた。終了後のアンケート(7割の解答)では、「とても楽しかった」76.4%、「楽しかった」23.6%と回答いただき、コメントでは「新人紹介、クイズ大会

も楽しかったです。」「参加しやすい雰囲気でも良かったです。」「色々な病院の方々と接することができる、貴重な機会でした。」「気合いが入りました。頑張ります!」「立食形式だと交流が図れると思いました」と多くのコメントもいただいた。

日頃会うことができない会員さんも多くの会員が交流を図り、笑顔溢れる時間となった。次回は課題も検討しつつ会員の皆様の活発な交流が図れるよう、また県士会活動を通して人と人との繋がりを大切に、作業療法士として会員や県民のみなさんにとって最適な支援の実現に繋がるよう活動していきたい。



新会員紹介

今年度42名の新会員が新たに加わった。

金沢医療センター
米澤病院
金沢西病院
金沢西病院
金沢赤十字病院
金沢赤十字病院
金沢赤十字病院
石川県立こころの病院
石川県立こころの病院
石川県立こころの病院
恵寿総合病院
恵寿総合病院
森田病院
自宅
芳珠記念病院
石川県済生会金沢病院
石川県済生会金沢病院
城北病院
城北病院
城北病院
石川県立中央病院

松村 大世
佐々木晴奈
川口 陽彩
本瀬 七菜
和泉 美優
高田 光希
坂井 拓之
青木 健竜
渡辺 佳奈
林 勇之介
峰 真翔
石垣 美夢
岡本 悠生
青坂 崇大
福岡 陽羅
谷 奈津美
水上 真佳
前田 晃佑
塚本ほのか
中谷 伊織
山下 太郎
公立能登総合病院
喜峰会ボニジュール根上苑
地域医療機能推進機構金沢病院
地域医療機能推進機構金沢病院
芳珠記念病院
金沢脳神経外科病院
金沢脳神経外科病院
やわたメディカルセンター
ときわ病院
金沢大学附属病院
加賀のぞみ園
久藤総合病院
金沢医科大学病院
金沢医科大学病院
公立つぎ病院
公立つぎ病院
公立つぎ病院
国立病院機構七尾病院
桜ヶ丘病院
老人保健施設葵の園丘の上
加賀市医療センター

上杉 嶺奈
中谷 知陽
栗本 万愛
松本 皓嗣
坂下 広晟
山口奈菜実
新田 侑生
中村 太信
中田 俊輔
釜田 愛花
田淵 柚奈
牧野 憂
相馬 兼人
吉田 己哲
清田 健太
久志野 光
谷口 拓
飯田 正樹
高木 奏海
辻本 由理
奥村 明音

第33回石川県作業療法学会 ご参加お待ちしております！

石川県立中央病院 千田 茂

第33回石川県作業療法学会は6月29日(日)の1日開催となる。対象者の夢を叶え、喜ばれることこそ我々セラピストのモチベーションに繋がっている。そのためには課題を解決するための専門性やチームワーク、対象者との関わりが大切である。今回の学会ではそれらを包括的に捉えられるよう、専門的な支援と連携、生涯教育(学習)、業務の効率化等の視点から学会特別シンポジウム、教育セミナー、指定演題

を企画した。

演題数は21題となった。1日開催に戻りより参加しやすく、オンデマンド配信も準備した。幅広い層の会員の皆様のご参加、学会の盛会を心より期待している。



テーマ

作業療法士の専門性と魅力 ～人々の生活を構築し、夢を叶える支援～

会 期：2025年6月29日(日)

オンデマンド配信：7月10日(木)～8月10日(日)

会 場：金沢医科大学病院

プログラム

●学会特別シンポジウム 10:30～

「幼少期に対麻痺となり社会人になるまでの専門的支援と連携」

石川県立中央病院 作業療法士 山田博子 氏

済生会金沢訪問看護ステーション 理学療法士 古矢泰子 氏

石川県リハビリテーションセンター 作業療法士 寺田佳世 氏

社会医療法人財団董仙会本部 (作業療法士) 進藤浩美 氏

●教育セミナー 13:00～

「専門性を磨こう 誰でも分かる！新生涯学修制度」

木島病院 桂 靖典 氏

●一般演題

口述21題(指定演題、急性期、回復期、老年期、運転・災害)

参加登録

期 間：現地参加+オンデマンド配信 5月14日(水)～6月22日(日)

オンデマンド配信のみ 5月14日(水)～7月27日(日)

申込方法：右記QRコードより

参 加 費：会員(県士会、他県士会、協会) … 1日4,000円

非会員・一般…8,000円 学生…無料



学会ウェブサイト QRコード

能登支部

恵寿総合病院 北谷 渉

この度新たに能登支部長を務めることになった。まだまだ力不足ではあるが、能登支部では今後も顔の見える関係性を維持しながら、若いOTが積極的な意見交換がしやすい場所作りをしていきたい。復興へ向けても若い力で盛り上げていきたいと考えている。

今年度も能登支部では、事例検討会3回(6/13、10/10、2/7)、MTDLP検討会(11/28)、語らう会(9/19)、研修会(2/7)を予定。多くの皆様の参加をお待ちしている。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

今年度の加賀支部の事例検討会は今月4日に開催された事例検討会の他に8月3日と2月4日に予定している。毎年このうちの1回は交流会も併せて開催することにしており、ドーナツを食べながら顔の見える関係づくりの場としている。昨年度は2月に交流会を予定していたが、直前的大雪で中止となり、大変残念に思うこととなった。今年度はそのことを踏まえ雪の心配のない8月3日の事例検討会に併せて交流会を予定している。事例検討会共々交流会の場も有効に活用してもらいたい。更にMTDLP事例検討会を12月3日に予定している。こちらでも自己研鑽の機会としてぜひ活用していただけたらと思う。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

今年度の金沢西支部の活動は、事例検討会は3回(6月4日、12月11日、3月5日)を予定しており、第1回は対面で開催した。生涯教育制度が大きく変わったことにより、事例報告希望者が増えることが予測されるため、早めの申込みをお勧めする。そして、MTDLP事例検討会は7月23日にオンラインで開催する。事例は絶賛募集中である。ぜひ申込みいただければと思う。また、作業療法の普及啓発を目的に百万石踊り流しに参加した。福祉のつどい金沢(10月頃)においても、作業療法の普及啓発を行う予定である。

金沢東支部

金沢大学附属病院 仁木 裕也

今年度より金沢東支部の支部長を務めることとなった。これまでは部員として理事や支部長の下、事例検討会の運営等に携わってきた。今後は諸先輩方の意思を引き継ぎ、支部内の交流をより活性化できるよう取り組んでいく所存である。

さて、金沢東支部では事例検討会にミニレクチャー、MTDLP事例検討会にサポート役を配置するなど、初学者でも参加しやすいような取り組みを続けている。事例検討会は臨床力を高める非常によい学び場であるため、気軽に参加いただきたい。また、LINEオープンチャットも継続し、研修会案内や相談など自由に使用可能であるため、新人の方や未登録の方はぜひご登録いただきたい。



第4回 生活行為工夫情報コンテストの報告

福祉機器部 JCHO金沢病院 越田 雄

当会は令和3年度より日本作業療法士協会が実施する生活行為工夫情報事業に参加している。本事業は、OTの工夫によって生活行為の課題が解決した事例を集積し、共有することを目的としている。その一環として令和6年4月から令和7年2月の期間に投稿された事例を対象に第4回生活行為工夫情報コンテストを開催した。課題の抽出、新規性、実用性、実現性、

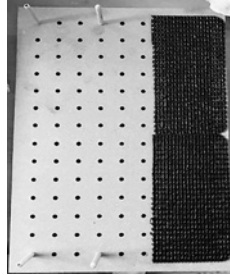
情報伝達・表現力を審査基準として、表彰選定委員会より以下の賞が選出された。今年度も第5回コンテストを開催する。過去の学会や症例検討会で報告した事例も投稿可能なため、多くの会員が登録することでOT全体のスキルアップに繋がり、より多くの対象者に質の高い作業療法を提供できると考えている。

最優秀賞



視覚障害を伴う橈骨神経麻痺の方がクリップ付万能力フで白杖移動と書字が可能となった事例
金沢福祉用具情報プラザ
本田 優介

優秀賞



片麻痺の方が片手でスムーズに食品用ラップをかけられる固定台
恵寿総合病院
五十嵐 満哉

優秀賞



肩関節屈曲制限のある方に柄のついた洗髪ブラシを導入し、洗髪動作が自立した事例
金沢西病院
行上 恵里子

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和7年3月13日(木) 19時～19時40分 西泉事務所 + オンライン
2. 出席理事：東川、麦井、桂、合歓垣、米田、東、堀江、菊池(以上8名会場出席)種本、中森、永井、酒野、越田、坂下、高多、鈴木(以上8名Zoom出席)出席支部長：市川、西村、小川、長原(以上4名Zoom出席)
出席監事：後出、進藤(以上2名Zoom出席)欠席理事：加藤、村井 書記：山本(Zoom)濱岸(会場)
3. 議事 第1・2号議案 令和7年度事業計画と予算について会長と米田副会長兼財務理事より説明。 **承認**
第3号議案 麦井事務局長から休会申請者9名、永年会員申請者1名と報告があった。 **承認**

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第6回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和6年 3月5日(火) 19時40分～21時 西泉事務所 + オンライン
2. 出席：同上理事、同上支部長
3. 議事 **審議議案**
《財務部》1)令和7度会費免除について 正会員会費免除基準を明示し、継続実施(書類確認要)。なお賛助課員の免除は行わない。 **承認**
2)正会員の年会費納付方法に会費ペイを導入。賛助会員は従来通り銀行振り込み。 **承認** 3) 2031年の東海北陸作業療法学会の特別会計積立金について、最大で年間80万円を目途に7年間で560万円を積み立てる。 **継続検討**
《災害対策委員会》復興リハ事業(案)として、中高生と高齢者の交流会、スポーツフェス、脳活プログラムの活用。 **継続検討**
《學術部》石川県学会での他士会会員の発表受入。 **承認**
《管理運営教育部》キャリアアップ表彰(研修を一番受講した会員)について **承認**
《企画部》新会員歓迎会・表彰受賞祝賀会・全会員懇親会の開催方法、会費について **承認**
《金沢西支部》百万石踊り流しへの参加、参加者へのポロシャツ支給、士会裁量ポイントの付与 **承認**

◆◆◆令和7年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第1回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和7年4月9日(水) 19時～20時 西泉事務所 + オンライン
2. 出席理事：東川、米田、麦井、桂、東、菊池、種本、高多(以上8名会場出席)合歓垣、永井、中森、越田、酒野、鈴木、加藤(以上7名Zoom出席)出席支部長：市川、小川、長原、西村(以上4名Zoom出席)出席監事：後出雅敏、進藤浩美(以上2名Zoom出席)欠席理事：堀江、坂下、村井 書記：山本(Zoom)濱岸(会場)
3. 議事 正会員数：822名(令和7年3月31日現在)賛助会員数：45施設・企業 会員資格喪失：3名
令和7年4月9日付 **承認**
第1号議案 令和6年度事業報告について東川会長から報告。 **承認**
第2号議案 令和6年度決算について、米田副会長兼財務理事から暫定版の提示し、確定版を書面審議・決議を提案。後出監事より、決算内容は改めて確認する旨と、事業計画は適正に運用できている旨が報告された。進藤監事より、決算がスムーズにいかなかった理由の確認があった。東川会長より第2号議案は確定した決算書の後日電子メールにて審議、書面決議とする旨が提案された。 **承認** 後日、決算書が書面府議された。(令和7年4月15日) **承認**
第3号議案 その他 永年会員申請に1名追加があった **承認**

◆◆◆令和7年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第1回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和7年4月9日(水) 20時～21時 西泉事務所 + オンライン
2. 出席：同上理事、支部長、書記：山本(Zoom)、濱岸(会場)
3. 議事 **審議議案**
《財務》1)令和7度会費免除について(理事会承認事項) 手続きについて、三役で氏名・状況を確認し会費免除を承認、理事会で事後報告とする(メールなどのデジタル承認を含む)。 **承認**
2)決算(案)別途、案内予定。次年度以降は、電子配信も可能と考え、検討していく。 **承認**
《事業部・企画部他 合同》災害復興支援について、交流会(事業部)とスポーツフェス(企画部)の実施を提案。 **継続検討**
《企画部》会員交流会(新歓歓迎会・表彰祝賀会併催)について 開催日時、内容の経過が報告された。 **継続検討**
《広報部》県士会ニュース135号について、割付案、発行スケジュールの提示 **承認**

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

学術部 第33回石川県作業療法学会
日時 6月29日(日) 9時～17時
場所 金沢医科大学病院

発達障害支援部
いっしょに小児発達しよう会
日時 7月下旬予定

金沢西支部 MTDLP事例検討会
日時 7月23日(水) 19時～21時
Web開催(Zoom使用)

精神医療部 精神医療部勉強会
日時 7月25日(金)

加賀支部 第2回事例検討会・交流会
日時 8月3日(日) 9時～12時
場所 やわたメディカルセンター

身障医療・老年医療部
現職者選択研修会(身障)
日時 8月23日(土)

2025マネージメント研修会
日時 8月31日(日)
場所 金沢大学附属病院

管理運営教育部 キャリアアップ交流会
日時 9月5日(金)

教育部 生涯学習制度説明会
日時 9月12日(金)

能登支部 相談会
日時 9月19日(金) 19時～20時
Web開催

金沢東支部 健康づくりフェア
日時 9月27日(土)、28日(日)
場所 金沢健康プラザ大手町

大学院で学んで 保健・医療・福祉、教育の リハビリテーション関連領域の リーダーを目指しませんか

多分野融合型の教育・研究体制
働きながら学べるオンライン遠隔講義や
昼夜開講制度、長期履修制度
授業料や奨学金制度など
経済的負担にも配慮



総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

詳細は本学HPを
ご確認ください



〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
電話 (076) 276-4400 (代)

あらゆる人々が輝く社会を
実現するために
サンウェルズは
進化と変化を続けます。

SUNWELS

全国に続々展開中！
パーキンソン病専門ホーム PDハウス

- 1 専門医監修の
リハビリプログラム
- 2 脳神経内科医による
訪問診療
- 3 お看取りまで対応
24時間の訪問看護体制

北陸エリア開設一覧 ※2025年5月末時点

石川県	富山県	新潟県
PDハウス白山 2018.06 OPEN	PDハウス秋吉 2022.10 OPEN	PDハウス新潟紫竹山 2024.10 OPEN
PDハウス小坂 2018.12 OPEN	PDハウス戸板 2023.04 OPEN	

リニューアルしたHPで
最新情報を随時発信中！

株式会社
サンウェルズ

ご入居・お問い合わせ窓口 | 受付時間 9:00～17:00
0120-540-367

HPはこちら

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会
医療法人横仁会

金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

有限会社 さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所



県土会Web QRコード▶



会員数

会員数 858名(令和7年6月3日現在) 賛助会員 44施設・企業

認定作業療法士43名(令和7年6月3日現在) 専門作業療法士 4名(令和7年6月3日現在)

編集後記

大相撲夏場所、大の里の活躍に石川、そして被災地の能登の多くの方も心躍り、横綱昇進に喜びに沸いたことと思う。お顔だけ見ていると24歳を思わせる“若さ”をうかがえるが、その言動には驚かされ「誰からも愛される関取に」なんて言うところは並の人ではないと感じた。自分の若いころはというと自分のことしか考えていなかったと猛省するばかりだが、新入会員の初々しい姿を見るとき言いたくなる。「誰からも愛されるOT」になってもらいたい。学生から社会人になるときに恩師にこう言われたことを思い出すこの頃であった。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、五十嵐満哉、永井亜希子、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：米田貢 印刷：ヨシダ印刷株式会社